

# 事務事業評価シート

年度

5

## 1. 基本情報

事業番号	010102030002	事務事業名	クラブ活動運営事業
まちづくり目標	未来を担う人と文化を育むまち	施策	輝く子どもを育むまちづくり
基本施策	知・徳・体の調和のとれた人材の育成	取り組み事項	健やかな体を育成する
部名	教育委員会	課名	学校教育課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	教育活動の一環として部活動を継続的に実施するため、学校保管の楽器リース及び保守や吹奏楽の大会参加のための楽器運搬を行うとともに、部活動を充実させるため、部活動指導員の配置や部活動地域移行推進協議会において地域移行についての検討を行う。		
対象	中学校生徒		
目的	部活動を通して、異年齢との交流の中で、生徒同士や教員と生徒等の人間関係が構築され、自己肯定感、協調性や社会生活への適応性を養うことができる。また、部活動指導員を配置することで指導の充実を図る。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画	教育振興基本計画		
根拠法令			

## 2. 事業費

### (1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.14	0.23	0.23	0.26	0.26	0.26
会計年度任用職員数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費計	950,117	1,759,471	1,492,219	1,821,009	1,821,009	1,821,009
事業費計	1,890,600	2,110,030	2,681,422	3,540,000	3,532,000	3,532,000
フルコスト	2,840,717	3,869,501	4,173,641	5,361,009	5,353,009	5,353,009

### (2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	256,000	384,000	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	2,584,717	3,485,501	4,173,641	5,361,009	5,353,009	5,353,009
事業費計ー特定財源	1,634,600	1,726,030	2,681,422	3,540,000	3,532,000	3,532,000

## 3. 評価指標

### (1) 活動指標

指標名	部活動加入率					
単位	%					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	90	90	90	90	90	90
単年度実績値	87.6	74.9	84			
前年比	-	85.5%	112.14%	-	-	-
単年度達成率	97.33%	83.22%	93.33%	-	-	-

## (2)コスト指標

指標名1	部活動加入している生徒一人あたりにかかるコスト					
単位	円					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	4,662.5	6,092.5	7,011	8,247.7	8,300	8,300
単年度実績値	4,906.2	7,896.9	7,588.4			

## 4. 事後評価

## (1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	A: 妥当性が高い	部活動は、自己肯定感、協調性や社会生活への適応性を養うことや異年齢との交流の中で、生徒同士や教員と生徒等の人間関係を構築することができる。充実した部活動運営を行うためには本事業は妥当である。	なし
有効性	B: 比較的有効である	部活動指導員を配置することで専門的指導が来ている。また、地域の組織、団体と連携した部活動の実施に向けた検討を行った。	なし
効率性	B: 比較的効率的である	大会参加用バス借上げ等のための見積もり合わせを行うなど、コストの抑制に努めた。	なし
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	部活動地域移行推進協議会を実施し、部活動を充実するための検討を行った。	あり
透明性	A: 透明性が高い	大会結果等を新聞、広報等により周知している。また、地域移行対象となる部活動の生徒及び保護者に対して方向性等の説明を行った。	なし

## (2) 総合評価

総合評価
A

## (3) 方向性評価(担当者)

方向性	C: 改善・見直しの上で継続
所見	部活動をより充実させるために、地域移行も含めた検討を引き続き行っていく。
休止・廃止となったときの影響	部活動で専門的な指導ができる人材不足や吹奏楽部の楽器調達等が困難になる恐れがある。

## (4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	部活動を通して、生徒が自己肯定感を高めることができている。また、部活動指導員を配置することで、指導の充実を図ることが来ている。引き続き地域の組織、団体と連携した部活動実施の検討を進めていく。